

## マナーを守り、芝を大切に

2024年2月

グリーン委員会

ここ最近、メンバーやコース管理課スタッフなどから、

「ラウンド中や練習場で、著しいマナー違反、メンバーとしての役割を果たさないなどの人がいる」との声が多数届いています。

内容は、

「ラウンド中、同じ場所から練習として多数のボールを打つ。のみならず、ターフやダフリの跡を修復（目土、埋め戻し）をしない」

「グリーンに付いたボールマークを直さない」

「夕方、管理課のメンテナンス時間になってもプレイしている」

「休場日に来場し、パター練習場やアプローチ練習場を使っている」

「練習場グリーン周りで縄跳びをする」

などです。もちろん、メンバー全員がそうではないことは承知していますが、寄せられた声を総合すると、一定数おられることが把握できます（特に、ジュニア親子メンバーに頻繁に見られるとの声も少なくありません）。

BWCは、基本的にキャディさんはいませんし、ラウンド中の目土はプレイヤー全員の役割です。

レッスンを行っているプロが、メンバーに同じ場所からボールを打たせて指導することはありますが、プロは必ず埋め戻し・目土を行い綺麗に修復します。ボールマークも同じです。

コース管理課は、限られたスタッフで日々のメンテナンスを懸命に行っています。そのスタッフからも、「なんとか改善して欲しい」の声が届くことの重大さをご理解いただきたいと思います。最低限、下記のことを厳守していただくようお願いします。

- ・原則的に1人1球でプレイする（ルールに基づく複数球は除く）
- ・練習ボールは、良識の範囲内で数球にとどめる
- ・目土は必ず行う
- ・グリーン上のボールマークはグリーンフォーク等で必ず直す
- ・夕方、管理課の作業の邪魔になるような時間帯にはプレイしない

(季節ごとに作業のタイミングは異なります。スタート時間等は、マスター室の指示に従ってください)

- ・休場日は芝を休ませる目的もあるので、来場しない

ご承知とは思いますが、芝は非常にデリケートな生き物です。傷つけられた状態は、簡単に元には戻りません。それを胸に刻んでプレイすることが、ゴルファーとしての責任だと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

以上